

育てる楽しさを、 学びと仕事へ。

高床式砂栽培 栽培士育成プロジェクト

世代や障がいの有無を越えて、
共に育て、学び、役割を見つける。

2026 年 10 月 3 日 更新版 / 計画・提案を含む



活動イメージ

はじめての一步は、
「やってみたい」という気持ちから。

会員になると、どんな楽しみがある？

「育てる」「学ぶ」「つながる」「役割を見つける」。関心から選ぶ参加設計です。

01

育てる

苗の成長を見守り、
収穫を楽しむ。

02

学ぶ

栽培の基本から、
資格への一歩へ。

03

つながる

農園で出会い、
経験を教え合う。

04

役割を見つける

得意を生かして、
活動や仕事へ。

資格や就労を目指す方も、体験・交流を楽しみたい方も。

同じ農園で、違う得意を持ち寄る。



シニアも、初めて農業に触れる方も。

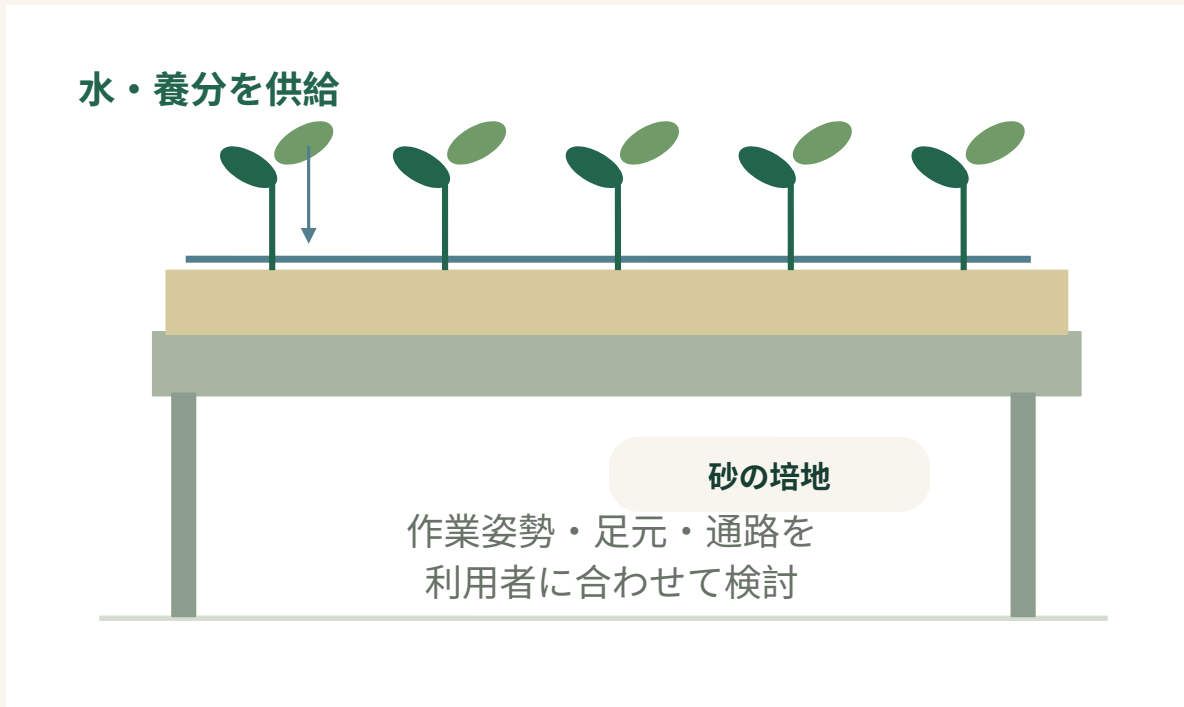
両画像とも活動イメージ。役割は本人の希望・得意・身体状況と、現場の安全を確認して決める設計です。



車椅子利用者も、共に栽培する仲間に。

仕事を、人に近づける栽培環境。

砂を培地にした栽培床を高く設け、水と養分を管理する栽培方式です。



01

高床化

立位・座位の姿勢や手の届く範囲に合わせて、設備を調整・確認。

02

作業を分ける

播種、管理、収穫、選別、記録など。得意に合わせて役割を設計。

03

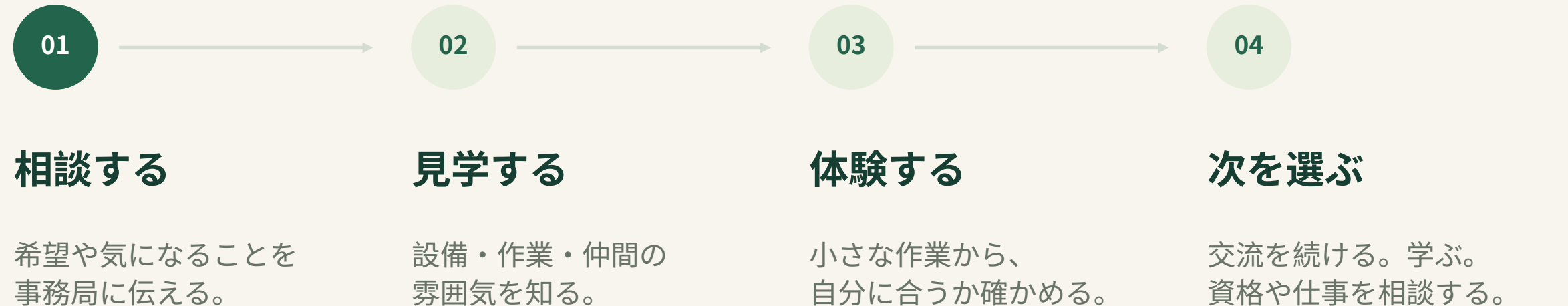
安全を確かめる

足元、移動、休憩、暑熱対策まで。一人ひとりの参加条件を確認。

概念図：寸法・仕様を示す設計図ではありません。参考 [4] 近畿農政局（2025 年 7 月取材）。

はじめの一步は、見学・体験から。

「自分にもできるかな？」を、現場で確かめる機会をつくります。



90 分の体験会モデル

説明 15 分 + 栽培・収穫 45 分 + 交流・振り返り 30 分

上記は開催案。体調に応じて休憩を取り、会場・日程・参加費・受入条件は開催ごとに事前案内します。

体験の先に、「栽培士」という目標を。

資格取得を目指す方へ。学習・実習・指導の段階を見える形にします。

3 級

基礎を学ぶ

栽培の基本・安全・作業手順

資格費 1 万円

2 級

実地で力をつける

約 3 か月の実習を想定

資格費 6 万円

1 級

教える役割へ

講師・栽培指導人材を目指す

要件・費用は別途確認

Organic Club 会費を基盤に、資格取得支援へつなぐ構想です。

既存企画の設計値。認定主体・受講要件・費用・支援対象や上限は正式案内時に確認します。

栽培だけが、活躍の場ではありません。

作業を分けて、経験・希望・身体状況に合う役割を相談します。

01 育てる

播種・苗の管理・定植

02 収穫する

収穫・選別・出荷準備

03 整える

資材整理・衛生・環境整備

04 記録する

栽培記録・数量・写真整理

05 伝える

見学案内・体験会の補助

06 教え合う

経験の共有・新人のサポート

パラスポーツ経験者の学び直しや、セカンドキャリアの選択肢にも。

競技経験の有無だけで役割を決めず、本人の希望と現場での適性を確かめます。

学ぶ時間と、働く時間を分けて説明。

体験・講座・実習

知る・試す・身につける

目的、参加条件、必要な費用を
事前にご案内します。
就労契約とは分けて説明します。

賃金を支払う有償インターン

1 日 約 3 時間

雇用型の短時間就労として設計。
適用される最低賃金以上を前提に、
受入条件・作業・契約を確認します。

運営側 → 参加者：賃金を支払う。人件費・育成経費として計上。

B 型就労の工賃やシルバー人材センター経由の就業とは混同せず、形態別に整理。参考 [6] 厚生労働省。

農でつながり、文化や交流へ広がる。

農業だけで終わらない、会員同士の楽しみも順次ご案内する構想です。



活動イメージ

日程・会場・料金・参加条件は事前案内。ご家族との参加や、暮らし・ペットとの共生に関する相談も事務局へ。

01 農と食

栽培・収穫の体験、季節の野菜を学ぶ。

02 つくる

陶芸や絵画で、自分らしく表現する。

03 分かち合う

音楽や作品の交流で、仲間とつながる。

月会費と参加条件を、わかりやすく。

Organic Club

月会費

5,000

円／月

お支払いは口座振替

会費の役割

会員運営・情報提供・参加調整と、
資格取得支援につなぐ基盤。

別途確認する費用

講座・実習・体験会・材料費など。
開催ごとに条件をご案内。

申込み前に確認

開始月、必要書類、支援対象・上限、
会費に含まれる範囲を確認。

会費・口座振替は既存申込書〔3〕に基づき記載。個別プログラムの提供条件・支援範囲は正式案内で確認します。

参加前に、不安を一緒に確認します。

姿勢・動線

立位・座位、手の届く範囲、
車椅子の移動と足元。

時間・休憩

活動時間、休憩場所、
体調や暑さへの配慮。

作業・支援

作業の難しさ、道具、
指導者と必要なサポート。

費用・連絡

必要な費用、交通、
緊急時の連絡方法。



活動イメージ

見学だけの相談も、ご家族・支援者との相談も。